

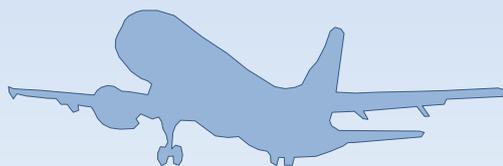


よくわかる
ことしの
ま
ち
中標津づくり
令和6年度主要施策概要（予算説明書）

空とみどりが人をつないでいくまち

中標津

～住みたいまち 住み続けたいまち～



目次

- 基本目標1:つながりが未来を築くまちづくりに関する事業……P 3 ～ P 4
- 基本目標2:安心と生きがいを感じるまちづくりに関する事業…P 4 ～ P 7
- 基本目標3:産業の力みなぎるまちづくりに関する事業 ……P 7 ～ P10
- 基本目標4:住みやすいまちづくりに関する事業 ……P10 ～ P13
- 基本目標5:郷土愛あふれるまちづくりに関する事業 ……P13 ～ P15



ごあいさつ

町民の皆様には、日頃から町政運営に対して深いご理解とご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。

このたび、今年度を実施する町の事業を皆さんにわかりやすくお知らせし、町政に対して更に理解をいただくために、主要施策概要『よくわかることしの中標津^{まち}づくり』を作成しました。

令和6年度の予算は、第7期総合計画におけるまちづくりの基本理念に基づく将来像「空とみどりが人をつないでいくまち中標津」のもと、将来を見据えた施策を、効果の測定と評価に基づき展開するとともに、財政状況を的確に判断のうえ、次世代を担う子どもたちが安心して住み続けられるよう、事業の規模や将来負担について慎重に検討・検証したうえで予算編成にあたりました。

中標津が中標津らしく存続することができるよう、今日まで先達が作り上げた本町の持つ利便性、住みやすさをさらに追及し、バランスのよい、「住みやすさNO.1のまち」を目指して町民の皆様とともにまちづくりを進めていく所存でございます。

本書が皆さんのまちづくりの議論や活動の素材として、ご活用いただけることを願っております。

令和6年4月



中標津町長 西村 穰



中標津町の予算の全体像

◇ 令和6年度予算について

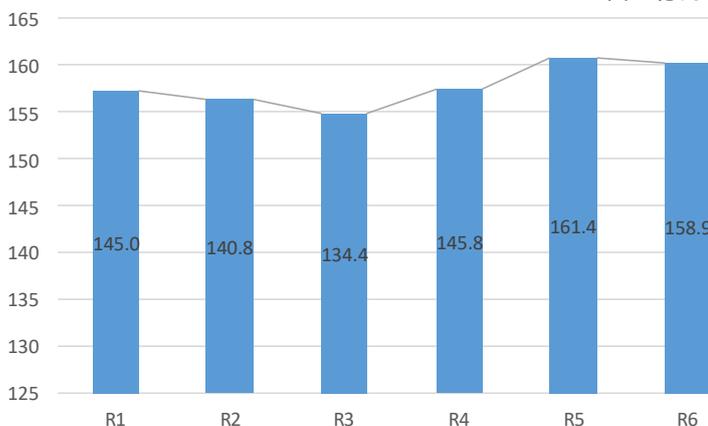
今年度の予算は、「令和6年度予算編成方針」や「行財政健全化計画」に基づき、人口減少を見据えた事業の展開や歳入確保の取り組みを念頭に、事業の優先度や効果について充分検討し、「住みやすさNo.1のまち」を目指した予算となりました。

<予算額>

会計区分		令和6年度予算額	令和5年度予算額	伸率
一般会計 (A)		158億9,200万円	161億4,100万円	△1.5%
特別会計	国民健康保険事業特別会計	27億5,760万円	27億2,548万円	1.2%
	後期高齢者医療特別会計	3億6,369万円	3億2,192万円	13.0%
	介護保険事業特別会計	16億9,311万円	16億7,114万円	1.3%
	町営牧場特別会計	6,974万円	6,753万円	3.3%
	小計 (B)	48億8,415万円	47億8,607万円	2.0%
企業会計	水道事業会計	8億6,268万円	10億3,289万円	△16.5%
	簡易水道事業会計	8億9,294万円	8億9,523万円	△0.3%
	下水道事業会計	16億4,580万円	17億5,901万円	△6.4%
	病院事業会計	60億9,577万円	52億6,968万円	15.7%
	小計 (C)	94億9,719万円	89億5,681万円	6.0%
予算総額 (A + B + C)		302億7,334万円	298億8,388万円	1.3%

※数値については円単位のを四捨五入し、万円単位で表記しておりますので、合計の額や%の数字が一致しない場合があります。

単位：億円



◇ これまでの予算の推移について

近年の原油価格・物価の高騰や大型施設整備の実施に伴って予算規模は高水準化しています。

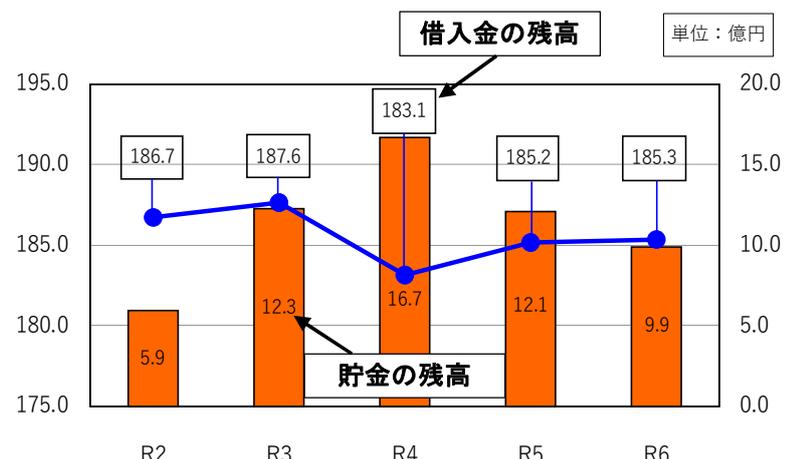
令和6年度当初予算額は、令和5年度に広陵中学校の校舎改修工事が完了したものの、物価高騰などの影響により、過去2番目の規模の158億9,200万円になっており、収入が不足することから貯金の取り崩しを見込んでいます。

今後も真に必要な事業を取捨選択し、より効率的で効果的な行財政運営に努めていきます。

◇ 貯金や借入金の状況について

令和4年度末に約16.7億円まで回復した貯金残高（財政調整基金・減債基金）は、大規模改修事業や原油価格高騰などの影響に伴い、令和5年度末では約12億円、令和6年度末では約10億円まで減少する見込みになっています。

依然として、借入金の高水準化が続いており、貯金と借入金のバランスが非常に悪い状況が続いていることから、財政健全化に向けて、借入の抑制や安定した貯金の積立てを行い、大規模災害などの不測の事態に迅速に対応できるよう持続可能な財政基盤の確立を目指します。



ことしの事業概要について

第7期総合計画では、まちづくりの基本理念として「住む人が“つながる”まち」、「その人と“つながる”まち」、「しごとが“つながる”まち」、「まわりの自治体と“つながる”まち」を掲げ、4つの基本理念に基づき、「つながる」を最重要テーマとし、まちの将来像である「空とみどりが人をつないでいくまち 中標津」の実現に向け、5つの分野からなる基本目標の達成のため各種施策に取り組んでいます。今年度に取り組む全251事業のうち、主な事業を抜粋してお知らせします。

基本目標1 ～つながりが未来を築くまちづくり～

新規事業・拡充する事業

町長・団体・企業・行政の協働	関係人口・交流人口の拡大	機能的連携の強化	広域連携の強化
1	2	3	4

多文化共生推進事業 (経済振興課)	1,175万円 町1,100万円	上段:事業費 下段:町負担額	
	外国人留学生等町内在住外国人と町民の交流など、外国人との共生に向けた取り組みを行います。今年度は、新たに2人の外国青年の国際交流員を招致し、体制強化や事業の充実を図ります。また、各種交流イベントのスタッフや外国語通訳、ホームビジット、ホームステイの受け入れに協力していただける町民の方を募集する国際交流ボランティア制度を創設します。		

大学交流推進事業 (政策推進課)	155万円 町0万円	
	町外に住む大学生などを積極的に町に招き、町民との交流活動等を通じて、次世代を担う地域の人材育成や交流人口・関係人口の増加を図ります。今年度から制度を改正し、新たに大学生等が町内でフィールドワーク等を行い、地域の課題解決や魅力発見の発表を行った場合、その大学・大学生等が翌年度に町の活性化を目的として町や町内団体と連携して行う取組に対しても支援を行います。	

小樽商科大学包括連携協定推進事業 (総務課・政策推進課・経済振興課)	550万円 町270万円
	中標津町と小樽商科大学は、相互に協力することで持続可能な地域社会の発展、未来を担う人材育成及び学術の振興を図る事を目的に、令和5年12月に包括連携協定を締結しました。今年度は経済構造を分析・可視化し各種施策やイベント等の経済波及効果の測定を行うため、産業連関表の作成に取り組むほか、役場職員の人材育成を図るためのリカレント教育プログラムを実施します。

役場庁舎ダイヤルイン導入事業 (総務課)	710万円 町710万円
	これまで役場にお電話いただいた際は、最初に電話交換手につながり、そこから担当部署につながっていました。今年10月より直接担当部署にお電話いただける環境を整備し、町民の皆様が役場にお電話いただく際の時間短縮や負担軽減を図ります。

窓口DX推進事業 (総務課)	3,141万円 町1,570万円	
	町民の皆様が役場に来庁された際の書類作成や手続きを簡素化するため、「異動受付支援システム」を導入します。これにより、届出書や申請書等に記載いただく項目を減らし、住民サービスの向上を図ります。	

主な継続事業

協働のまちづくり推進事業 (政策推進課)	37万円 町37万円	「まちづくりの主体は町民である」という事を基本として、町民と行政が共に考え行動し互いの理解を深め、「協働で進めるまちづくり」の実現に取り組めます。また、自治推進会議を開催し、自治基本条例の運用状況等を検証します。
--------------------------------	---------------	--

中標津町80年史(仮称)発刊事業 (総務課)	677万円 町674万円	開町80年を記念し、50年史発刊後30年の町勢のできごと等を回顧、記録した中標津町80年史(仮称)の作成を進めます。(令和7年度発刊予定)
外国人材誘致推進事業 (経済振興課)	8,634万円 町8,634万円	外国人材を地域における貴重な「人財」として、海外の成長エネルギーや新たな発想力とともに取り込みながら地域の活力とするため、海外プロモーションを積極的に行う等、外国人材の誘致活動を推進します。
関係人口創出事業 (政策推進課・経済振興課)	285万円 町285万円	移住を検討されている方のサポートに取り組むほか、東京・札幌中標津会の活動支援や川崎市との連携等の地域間交流活動の推進を図ります。
北方領土対策のための経費 (政策推進課)	1,422万円 町80万円	領土問題の啓発・返還運動を推進するとともに、四島交流が再開された際には外務省の北方四島住民人道支援事業により北方領土在住ロシア人患者の町立中標津病院での受け入れ等を行います。
男女共同参画推進事業 (政策推進課)	49万円 町19万円	女性の社会参加、活躍の場、雇用の創出など女性にとって魅力的な地域づくりを進め、女性の転出抑制や転入増加につなげていくために、男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成及び地域活動における女性の活躍を推進します。
人口減少対策調査研究事業 (政策推進課)	104万円 町54万円	第2期中標津町総合戦略で掲げる特化対策(①女性の社会参加の促進②若い世代の結婚支援③高等教育機関の誘致・充実)に基づき、急速に進展する人口減少・少子高齢化への対策を立案・実施します。

◆「つながりが未来を築くまちづくり」に係る補助・助成制度(抜粋)

(単位:万円)

名称	担当課	予算額	内容
フロンティア事業推進補助金	政策推進課	100	地域活動のリーダー育成や住民参加のまちづくり推進等の取り組みを一部補助

基本目標2 ~安心と生きがいを感じるまちづくり~

新規事業・拡充する事業

町民・団体・企業・行政の協働	関係人口・交流人口の拡大	横断的連携の強化	広域連携の強化
1	2	3	4

新 児童福祉施設冷房設備整備事業 (子育て支援課・町立保育園)	1,830万円 町1,720万円
---	---------------------

各児童館・町立保育園における夏場の暑さ対策として各施設に冷房設備を設置します。

- ・町立保育園(保育室6室、午睡室2室)
- ・児童センターみらいる(児童クラブ室)
- ・西児童館(研修室A、B)
- ・なかよし児童館(研修室)
- ・計根別こども館えみふる(調理室)



新 子育て世帯臨時特別給付金給付事業 (子育て支援課)	3,945万円 町0万円
---------------------------------------	-----------------

国が定めた「低所得者支援及び定額減税を補足する給付」に基づき、低所得の子育て世帯に対する物価高騰対策として、令和5年度の住民税非課税世帯や均等割のみ課税世帯のうち、18歳以下の児童を養育する子育て世帯に対して、児童1人あたり5万円の給付を行います。

新 公的介護施設等基盤整備事業 (介護保険課)	5,628万円 町0万円
-----------------------------------	-----------------

介護サービス提供体制の整備を促進するため、地域密着型サービスの拠点等の施設整備をする民間事業者等に対し施設整備の経費を支援する制度です。今年度は、令和6年10月に「認知症対応型共同生活介護事業所」を開設する予定の1事業者に対し施設整備の経費を支援します。

新	高齢者保健・介護予防推進事業 (住民保険課・介護保険課・保健センター)	33万円 町0万円	
<p>後期高齢者の健康維持・フレイル（心身の衰え）予防に努め町民の健康寿命の延伸を目指すため、健康状態が不明な高齢者の状態把握や必要なサービスへの接続、いきいき教室と連携したフレイル予防の普及啓発、健康教育・健康相談を行います。（後期高齢者医療広域連合委託事業）</p>			

新	機能訓練事業 (介護保険課)	55万円 町0万円
<p>身体機能が低下している方で、医療終了後も継続して機能訓練が必要な方に対し、身体機能の低下予防・維持回復を図るために必要な訓練を行い、日常生活の自立を支援します。</p> <p>【利用料】個別対応：[一般] 1回40分2,000円 [高校生以下] 1回40分1,000円 セミパーソナルクラス：[一般] 1回45分1,500円 [高校生以下] 1回45分800円 グループクラス：[一般] 1回60分1,000円 [高校生以下] 1回60分500円</p>		

新	地域福祉計画策定事業 (福祉課)	242万円 町242万円
<p>地域福祉計画は、地域福祉推進の理念や方針を示すものであり、高齢者・障がい者・子ども子育て・健康づくりといった各福祉分野の上位計画に位置付けられる計画です。人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながる事で住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現に向けて、地域福祉の推進に向けた中心的な役割を担う多様な関係者の参画により、令和6年度と令和7年度の2年間で計画を策定します。（計画期間：令和8年度～令和13年度）</p>		

拡	不妊治療助成事業 (保健センター)	78万円 町64万円
<p>保険適用の不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けた方の経済的負担を軽減するため、交通費・宿泊費の一部を助成します。また、今年度より新たに、保険適用の生殖補助医療と併用して実施した先進医療を受けた方に治療費・交通費の一部を助成します。</p>		

拡	予防接種等のための経費 (保健センター)	5,111万円 町4,874万円	
<p>各種予防接種を行い感染の恐れがある疾病発生やまん延を予防します。今年度より新たに、帯状疱疹の発症を予防し罹患後の重症化や合併症を防ぐため、任意予防接種である帯状疱疹ワクチン接種を希望する方に、接種費用の一部助成を行い負担軽減を図ります。</p>			

主な継続事業

中標津町第3期子ども・子育て支援事業計画策定事業 (子育て支援課)	309万円 町309万円	第2期中標津町子ども・子育て支援事業計画が令和6年度で終了となることから、第7期中標津町総合計画と整合性を図りながら、本町の実態に即した様々な子育て支援事業を推進していくことを目的に、中標津町第3期子ども・子育て支援事業計画を策定します。（計画期間：令和7年度～令和11年度）
子どものための教育・保育経費 (子育て支援課)	5億9,062万円 町1億4,873万円	認定こども園及び泉保育園の運営費・人件費などに対する経費です。また、幼児教育無償化に伴う認可外保育施設等利用保護者への施設等利用料分の給付を行っています。
保育士等の養成のための支援 (子育て支援課)	240万円 町240万円	待機児童解消のため、保育士・幼稚園教諭資格者の確保や定着化を図ることを目的とし、保育士等資格取得を目指し、町内の保育施設に従事する意思のある学生に対し、経済支援を行う制度です。
子ども・子育て支援事業 (子育て支援課)	2,017万円 町697万円	子どもの年齢や親の就労状況などに応じた子育て世帯への支援を実施します。（幼稚園型一時預かり事業、一般型一時預かり・ファミリー・サポート・センター事業、病児保育事業、子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業）

計根別地域保育事業 <small>(子育て支援課)</small>	831万円 <small>町0万円</small>	一時預かり事業を実施している計根別こども館えみふるにおいて、年間を通して安定的な預け先の確保及び保護者の負担を軽減するため、一時預かり事業とあわせて家庭的保育事業（小規模な保育所）を実施します。
伴走型相談支援・出産子育て 応援給付金事業 <small>(子育て支援課・保健センター)</small>	1,393万円 <small>町236万円</small>	妊娠期から子育て期まで身近で相談・支援を行う「伴走型相談支援」と、子育てへの経済的支援として妊娠の届け出や出生の届け出を行った方を対象に「出産子育て応援給付金」の給付を行います。
子育て世帯のための扶助 <small>(子育て支援課)</small>	3億2,566万円 <small>町6,397万円</small>	児童手当や各種医療費助成などを実施し、子育て世帯にかかる経済的負担を軽減します。(児童手当扶助、ひとり親家庭等医療費助成、乳幼児医療費助成、未熟児養育医療費助成)

〈子育て世代包括支援センター事業〉
 妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種相談に応じ、必要に応じて支援プランの策定や地域の保健医療等との連絡調整を行い、母子保健施策と子育て支援施策との一体的な提供を通じて、妊産婦及び乳幼児の健康の保持並びに増進に関する包括的な支援を行うことにより、包括的な切れ目のない支援を提供する体制を構築します。

児童館運営管理経費 <small>(子育て支援課)</small>	8,061万円 <small>町3,250万円</small>	中標津町児童センター「みらいる」やその他の3児童館において、放課後児童クラブ開設や、子育て世代包括支援センター事業や子育てサークルへの支援、チャイルドアドバイザーや菜園等地域と連携した事業を実施します。
成年後見事業 <small>(介護保険課・福祉課)</small>	1,083万円 <small>町234万円</small>	認知症・知的障がい・精神障がい等により判断能力が十分でない方が、成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行います。
高齢者の自立への支援 <small>(福祉課)</small>	945万円 <small>町778万円</small>	「高齢者が生きがいを感じ、ともに支えあい、安心して暮らせるまちづくり」の実現のために高齢者に対する各種支援を行うとともに、65歳以上で自立生活が困難な方の養護老人ホーム入所生活費を支援します。
介護人材確保のための 育成支援(介護保険課)	483万円 <small>町443万円</small>	町内の介護人材不足解消のため、介護福祉士実務者研修講座を開催するとともに、在宅介護のヘルパー増員のために必要となる介護職員初任者研修講座を開催します。また、介護保険事業者協議会へ負担金を支出します。

介護保険事業特別会計 <small>(介護保険課)</small>	16億9,311万円	◇保険事業 ・第1号被保険者数: 6,322名 要介護認定者数: 1,008名(要支援310名、要介護698名) ・介護予防・日常生活支援総合事業(いきいき百歳体操、通所型サービス) ・包括的支援事業(認知症初期集中支援事業) 他 ◇サービス事業 介護予防支援事業所事業運営費
---	-------------------	--

障がい者への地域生活支援 <small>(福祉課)</small>	2,008万円 <small>町826万円</small>	だれもが生き生きと暮らせる地域社会の実現を目指すため、介護保険の対象とならない障がい者や障がい児が適切な支援を受けられる環境の整備を行います。 ◇訪問入浴サービス、在宅福祉移送サービス、日中一時支援、コミュニケーション支援、障がい者移動支援、地域活動支援センター事業、障がい者日常生活用具給付、手話言語理解促進事業
医療的ケア児への支援 <small>(福祉課・町立保育園)</small>	795万円 <small>町0万円</small>	町立保育園での医療的ケア児の受入れにおける体制整備として、看護師等を配置します。
障がい者世帯のための 扶助・補助(福祉課)	7億2,480万円 <small>町1億8,120万円</small>	障がいのある方が自分らしく自立した生活が送られるよう、障害者総合支援法に基づく様々な福祉的サービスの費用を助成します。また、身体障がい者(児)・精神疾患のある方の心身の障がいの状態に対応した医療に対して、医療費の自己負担額を軽減します。

健康増進のための経費 <small>(保健センター・社会教育課)</small>	69万円 <small>町69万円</small>	町民が健康な生活を送ることができるよう生活習慣病予防、感染症予防等の啓発を図るとともに、「なかなか健康なかしべつ」の各種健康教室と運動教室等を総合体育館と連携して実施するほか、「なかなか健康なかしべつポイント」事業を実施します。
--	-------------------------------------	--

地域自殺対策の強化 (保健センター)	73万円 町31万円	「誰も自殺に追い込まれることのない中標津町」を目指し、関係機関との連携強化及び人材育成、各種相談、周知活動を行います。
健康診査・相談等の経費 (保健センター)	933万円 町810万円	◇健康診査・検診～がん検診(胃・肺・大腸・子宮頸・乳)、医療保険未加入者の健康診査、肝炎ウイルス検査 ◇相談～各種相談(歯科・栄養・成人等) ◇教室、学習会の開催～出前健康教室、結果説明会 他
母子の健康診査・相談等の経費 (保健センター)	2,073万円 町1,814万円	◇健康診査・検診～妊婦健康診査・産婦健康診査、乳幼児健康診査や歯科健康診査、新生児聴覚検査、産後ケア事業(宿泊型、デイサービス型、訪問型、母乳相談) ◇相談、家庭訪問～各種相談(妊産婦・乳幼児等)、新生児訪問 ◇教室、学習会の開催～パパママ教室、離乳食教室 他
病院事業会計 (町立病院)	60億9,577万円	◇診療科 15科 ◇病床数 一般173床、人工透析23床 ◇医師数19名(常勤17名、会計年度任用職員2名) 【主な設備・機器整備】 ◇医療機械器具等購入(6,800万円) 超音波診断装置等 ◇施設老朽化改修工事(5億5,792万円) 受変電設備更新工事等 ◇病院経営改善事業(1,280万円) ◇病院施設省エネ推進事業(1,138万円)
看護職員等確保のための経費(町立病院)	1,864万円 町1,864万円	町立中標津病院における看護職員等の充実を図るため、資金貸付や就職説明会でのPR活動等を行います。
国民健康保険事業特別会計(住民保険課)	27億5,760万円	被保険者見込:4,768名(平均) ◇国保特定健診・保健指導事業 特定健診受診率向上支援等共同事業(国保連合会との連携による受診勧奨)、健診自己負担額の無料化、健康かるてシステム 他 ◇健康づくり推進事業 国保人間ドック健診、骨粗しょう症検診、歯科疾患予防 他
後期高齢者医療特別会計(住民保険課)	3億6,369万円	75歳以上の方と65歳以上で一定の障がいのある方を対象とした医療制度です。(被保険者見込:3,310名)
後期高齢者医療に関連する経費(住民保険課)	2億804万円 町2億500万円	療養給付費負担金・健康診査実施、健診・骨粗しょう症検診の自己負担額を無料化、人間ドック受診費用への補助、なかなか健康なかしべつポイント実施



◆「安心と生きがいを感じるまちづくり」に係る補助金・助成制度(抜粋) (単位:万円)

名称	担当課	予算額	内容
特定疾患等患者通院交通費補助金	福祉課	99	特定疾患等により町外の医療機関に通院している方の交通費を補助
地域福祉事業推進補助金	福祉課	6	在宅福祉の向上、ボランティア活動の活性化等に取り組む民間団体を補助
不妊治療助成金(再掲)	健康推進課	78	不妊治療(体外受精・顕微授精)を受けた方への交通費・宿泊費補助、先進医療を受けた方への治療費・交通費補助

基本目標3 ～産業の力みなぎるまちづくり～

新規事業・拡充する事業

町民・団体・企業・行政の協働	関係人口・交流人口の拡大	機動的連携の強化	広域連携の強化
1	2	3	4

町産食材の消費拡大のための経費 (農林課)	235万円 町235万円
--------------------------	-----------------

牛乳消費拡大推進委員会へ負担金を支出し、イベント会場等で牛乳・乳製品のPR販売を行う他、今年度は「牛乳で乾杯条例」10周年の年であるため記念事業を実施します。また、地産地消推進協議会へ負担金を支出し、地産地消や6次産業化に向けたPRを行います。





開陽台整備のための経費 (経済振興課)

5,300万円
町5,300万円

開陽台を将来にわたって多くの観光客や町民の方から親しまれる施設とするため、今年度は駐車場トイレを改築し、安全性及び利便性の向上を図ります。



主な継続事業

酪農学園大学連携協定 推進事業(農林課)

143万円
町72万円

専門知識と技術を有する酪農学園大学と農業高校等との協力・連携により、地場産品を使用した新商品開発に向けた研究とPR活動に取り組みます。

農業基盤整備のため の負担金(農林課)

1億5,510万円
町6,221万円



- ◇草地整備
 - ・計根別北地区～総事業費:1億8,048万円 草地整備234.0ha 等
 - ・中標津中部第2地区～総事業費:1億2,000万円 測量設計、草地整備135.0ha、道路整備53m 等
- ◇農地整備
 - ・開陽28線南地区～総事業費:2億3,170万円 本工事

新規就農者対策事業 (農林課)

50万円
町26万円



- ◇新規就農者育成支援事業
 - ～新規就農者に対し担い手育成として費用の一部負担等の支援を行います。
 - ・農地保有合理化事業利子補給金:新規就農者の農場リース資金利子補給
 - ・農業次世代人材投資事業補助金:就農後の所得確保のための補助金
 - ・新規就農者対策事業補助金:新規就農者への補助金
(1件あたり400万円以内)
- ◇新規就業・就農PR事業
 - ～全国規模の総合就農相談イベント「新・農業人フェア」に参加し、就業・就農に向けたPR活動や移住相談を実施します。

町営牧場特別会計 (農林課)

6,974万円



- ◇放牧対象:生後6ヶ月以上の乳用牛(延入牧頭数12万頭)
- ◇放牧期間:5月27日～10月24日予定(150日間)

町有林間伐促進型CO2 排出削減対策事業(農林課)

7万円
町7万円

J-クレジット制度(カーボンオフセット)に係る販売促進のため、PR活動や企業との個別交渉に取り組みます。

林業行政の強化にかかる経費 (農林課)

483万円
町483万円

林業行政においては、業務の多様化及び高度な専門性を要することから「地域林政アドバイザー制度」を活用し、専門的知見を有する中標津町森林組合から総合的な支援を得て、林業行政の実施体制の強化を図ります。

森林管理・保護の ための経費(農林課)

5,160万円
町2,025万円

森林の有する多面的機能を発揮させるため、森林資源の育成・保全に努め、中標津町森林整備計画に基づいた森林整備を進めます。また、各種補助制度による支援を行い、私有林の整備を推進します。



森林環境譲与税活用事業
(農林課)

2,009万円
町2,009万円

森林環境譲与税を活用し私有林の整備促進のための各種事業に取り組みます。

- ◇森林経営管理事業
～経営管理されていない私有人工林所有者への意向確認調査を実施します。
- ◇中標津町私有林整備事業補助
- ◇地域森づくり推進整備事業補助
～森林整備の量を増加させるための町単独の補助事業です。
- ◇緑化推進事業(植樹祭)
～植樹祭、秋の植樹、サミットの森環境整備を実施します。
- ◇北海道林業・木材産業人材育成連絡協議会賛助金
～北の森づくり専門学院学生を支援します。
- ◇森の輪プロジェクト
～新生児への木育・地元木材活用推進を図ります。
- ◇木材利用推進事業
～地域の優良カラマツ材の公共建築物等への積極的な利用検討を行い、伐期を迎えた大口径カラマツを“地域材”として有効活用の促進を図ります。



※森林環境譲与税とは
～温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等のため、森林整備等に必要の地方財源を安定的に確保する観点から、国会で成立した森林経営管理法を踏まえ平成31年4月に創設されました。

林業・木材産業成長産業化促進対策交付金事業(農林課)

4,177万円
町0万円

俣落地区の町有林におけるカラマツを主体とした人工林の効率的な搬出・間伐を行うことを目的に林業専用道を整備するとともに、令和5年度開設の林業専用道西竹線の間伐工事をを行います。

中小企業振興基本条例推進事業(経済振興課)

16万円
町16万円

地域中小企業への施策の推進や地域経済の活性化等を目的とする中小企業振興基本条例に基づき、具体的な施策などを検討します。

商工業に対する支援
(経済振興課)

2,333万円
町2,333万円



- ◇中小企業融資保証料補助(280万円)
～町制度融資の借入れに伴う北海道信用保証協会への保証料を一部補助。
※初めて制度利用する場合は初年度全額補助
- ◇中小企業応援事業(120万円)
～既存企業の店舗や設備等を改修する費用を一部補助。
- ◇空き地空き店舗等活用事業(150万円)
～都市計画区域内の用途地域内で、空き地空き店舗等を活用し創業する起業家へ開業関連経費の一部を補助。
- ◇商工会活動補助事業(1,783万円)
～商工会が実施する、商工業の経営指導事業や若手後継者育成・資質向上活動、商工業振興推進事業などに要する費用を一部補助。

新商品開発等チャレンジ支援事業(経済振興課)

400万円
町400万円

本町の地域資源や地域特性を活かした新商品の開発・改良や新たな販路開拓の取り組みを支援し、本町事業者の商品やサービス及び生産物の高付加価値化を図るとともに経済活性化を図ります。

ふるさと納税制度推進の強化(政策推進課)

1億9,043万円
町1億9,043万円

ふるさと納税制度に係る返礼品事業者との連携強化や返礼品の拡充、寄附者へのPR強化などの取り組みを推進します。

観光振興のための経費
(経済振興課)

1,477万円
町1,352万円



- ◇観光諸行事のための経費(1,038万円)
～夏祭り・冬まつりなど観光諸行事開催のための経費です。
- ◇広域連携観光PR事業(440万円)
～自治体・観光協会・商工会などの団体で構成し、広域観光に取り組む団体への負担金です。

旬の食材活用推進事業
(経済振興課)

100万円
町50万円

地域の豊富な食材を調理することで付加価値を高めるとともに、その時期に地元でしか味わえない「旬の食材を活かした料理」を観光客や地元の方々へPRし誘客等の観光振興につなげるため、地場産品の知名度向上やメニュー定番化への取り組みを行います。



雇用確保対策のための経費 (経済振興課)	15万円 町15万円	季節労働者の雇用確保・就職促進に向けた取り組みのための、通年雇用促進協議会への負担金です。
--------------------------------	----------------------	---

企業誘致に向けた取組推進 (経済振興課)	76万円 町76万円	テレワーク実施による効果、課題を把握するため、中標津町でテレワークを行う企業に対し、移動費等の支援を行います。また、企業誘致推進に向けた調査研究を行います。
--------------------------------	----------------------	--

◆「産業の力みなぎるまちづくり」に係る補助金・助成制度(抜粋)

(単位:万円)

名称	担当課	予算額	内容
豊かな森づくり推進事業補助(再掲)	農林課	660	公共造林事業により実施した植林について、所有者の負担軽減のための補助
地域森づくり推進整備事業補助(再掲)	農林課	1,242	公共造林事業により実施した私有林整備に対する所有者負担軽減のための補助
中標津町私有林整備事業補助(再掲)	農林課	461	公共造林事業の要件を一部緩和させた、私有林における間伐・枝打ち事業に対する補助

基本目標4 ~住みやすいまちづくり~

新規事業・拡充する事業

町長・団体・企業・行政の協働	関係人口・交流人口の拡大	機能的連携の強化	広域連携の強化
1	2	3	4

拡	空家等対策事業 (都市住宅課)	268万円 町268万円
----------	---------------------------	------------------------

町民、企業、庁内関係部署と連携し空家等対策を推進します。(空家等対策協議会の開催、まちづくり町民会議(空き家編)の開催、空き家通信の発行等)また、今年度より新たに空き家の流通・利活用の促進を図るため、空き家の改修・家財処分・調査・登記手続等に対する補助金を創設します。

拡	緑ヶ丘森林公園キャンプ場利用促進事業 (管理課・経済振興課)	3億8,697万円 町2億8,267万円
----------	---------------------------------------	--------------------------------

緑ヶ丘森林公園キャンプ場の利用者増加を図り交流人口・関係人口の増加につなげるため、キャンプ場の魅力を十分発揮できるよう必要な整備の実施とサービス等の充実を図ります。今年度はキャンプ場本工事に着手するとともに、SNSの充実等情報発信の強化に取り組みます。(トイレ改修、敷地造成、各種設備工事、管理棟・公園トイレ設計 他)



新	消防体制整備に係る経費 (中標津消防署)	7,798万円 町7,798万円
----------	--------------------------------	----------------------------

- ◇非常用発電設備更新事業(3,335万円)
~災害発生時に重要拠点となる消防庁舎の非常用電源を安定的に確保するため、非常用発電設備を更新します。
- ◇通信指令装置機材更新事業(4,230万円)
~消防業務を遂行する上で最も重要な設備である高機能消防指令装置について、経年劣化等による不具合や機能停止を防止するため機材の一部を更新します。
- ◇消火栓整備事業(233万円)
~老朽化した消火栓を更新し、消防力の強化を図ります。

新	宅地耐震化推進事業 (都市住宅課)	1,072万円 町715万円
----------	-----------------------------	--------------------------

大規模災害において、谷や沢を埋めた盛土や斜面に腹付けした大規模盛土造成地が滑動崩落を起こす事例が全国で発生していることから、国は全国の自治体に調査と必要に応じた工事を義務化しています。当町においてこれまで調査を行った結果「滑動崩落の危険性の恐れがある」と判断された造成地2ヶ所について、今年度追加調査を行い危険性を評価します。
(調査箇所~東8条北9丁目付近、東10条北7丁目付近)

拡	防災・減災体制の充実強化 にかかる経費(総務課)	2,628万円 町1,990万円
----------	-------------------------------------	----------------------------

町民の防災力向上と防災意識の啓発を図るため、町・関係機関・町民等が一体となり、地域防災力の向上に努めます。今年度は平成6年に発生した東方沖地震から30年を迎えるにあたり、町民が体験し触れる事ができる「中標津町総合防災訓練」を行うとともに、今年度より耐震改修等補助金を拡充し除却工事の費用も支援します。
 また、災害や隣国からの飛翔体への対応として、携帯電話を持たないなど、屋外で情報取得が困難な町民への情報伝達手段として令和7年度の屋外拡声装置整備に向け、今年度は設計業務を行います。
 ◇防災備蓄品・防災資機材整備、防災の日啓発、防災訓練、地域防災リーダーフォローアップ研修 他



新	照明灯LED化整備事業 (生活課・経済振興課)	8,380万円 町8,380万円
----------	------------------------------------	----------------------------

脱炭素社会に向けた取り組みとして、主に住宅街や商店街に設置されている防犯灯・交通安全灯・商工灯のLED化整備工事に取り組み、電気使用量や電気料金の圧縮を図るとともに、安全・安心な環境づくりを進めます。(約2,000灯を3年間で実施予定)

主な継続事業

都市計画マスタープランの 推進(都市住宅課)	79万円 町78万円	第2期都市計画マスタープラン推進(まちのツボ活性化×地域別構想)、都市計画マスタープラン地域別構想等推進支援 他
景観形成推進のための経費 (都市住宅課)	71万円 町71万円	景観審議会開催、景観形成推進事業補助(良好な景観形成を図るために、町が認定した景観形成団体の活動に対し補助)、景観学習

道路整備事業(改良・舗装) (建設課)	5億6,510万円 町5億990万円	(市街地) 市街地道路簡易舗装事業 簡易舗装2路線283m、測量設計1路線350m (郊外地) 依橋南3号道路整備事業 用地測量327m、改良80m、舗装200m(依橋16線付近~17線間)、土地購入 豊岡35線道路整備事業 改良216m、舗装85m(0号付近~南中南1号付近間) 武佐南7線道路整備事業 改良・舗装185m(武佐西8号付近~武佐西9号付近間)、土地購入 西竹38線連絡道路整備事業 改良・舗装140m(北22号付近~北23号付近間) 開陽26線道路整備事業 改良・舗装200m(北9号付近~北10号付近間)、土地購入 西竹48線道路整備事業 改良・舗装150m(道道上武佐計根別停車場線北14号付近~北15号付近間)
--------------------------------	------------------------------	---




除雪・防雪にかかる経費 (管理課)	3億6,624万円 町2億8,219万円	◇除雪経費、除雪体制強化経費(車両位置装置・防雪柵設置等) ◇除雪機械購入(除雪トラック2台購入、歩道ロータリ除雪車1台購入) ◇上標津北14号道路防雪柵 柵設置56m(54線付近~55線付近間) ◇武佐北11号道路防雪柵 柵設置70m(18線付近~武佐17線付近間)
------------------------------	--------------------------------	---



橋梁の点検・修繕に かかる経費(管理課)	2億7,055万円 町1億3,405万円	町が管理する老朽化した橋の予防的な修繕や計画的な架替えにより長寿命化を図るほか、中標津建設業協会との協働で講習会を開催し、通常点検や災害時の緊急点検に備えた技術力向上を図ります。(橋梁補修:広栄橋、35線橋、豊栄橋、西竹橋 実施設計:西竹2号橋、東橋、拓北橋)
---------------------------------	--------------------------------	--

※「明日に架ける橋」プロジェクト事業を含む

道路照明灯LED化整備事業 (管理課)	7,756万円 町7,756万円	脱炭素化に向け、道路照明灯のLED化整備を実施します。
--------------------------------	----------------------------	-----------------------------

生活等バス運行の ための経費(生活課)	8,484万円 町3,886万円	地域住民の生活の足を確保するため、町有バス3路線(俣路線・武佐線・養老牛線)の運行と共に、民間バス事業者への補助を行います。また、地域公共交通計画に基づいた町内バス路線の再編と利用促進に取り組みます。
--------------------------------	----------------------------	--

空港利用促進対策事業 (空港対策室)	2,066万円 町1,516万円	路線の維持・拡大に向けた取組のほか、中標津空港の更なる利用促進事業に取り組みます。(要請活動・利用促進・空港線バス負担金 他)
-------------------------------	----------------------------	---



<p>公営住宅整備事業 (都市住宅課)</p> 	<p>4,818万円 町2,673万円</p>	<p>まちなか居住の推進と良好な住環境の形成を図るため、「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化している町営住宅の建替え工事を進めています。昨年度に引き続き、東中団地の整備を行います。 ◇東中団地～実施設計・地質調査・解体工事(3棟12戸)</p>
--	------------------------------------	---

<p>公園整備事業 (管理課)</p>	<p>2,728万円 町1,428万円</p>	<p>利用者の安全性確保・向上のため、公園の遊具等を計画的に整備します。 (東児童公園・東中児童公園遊具更新、実勢価格調査他)</p>	
--------------------------------	------------------------------------	---	---

<p>安全で住みよいまちづくりのための経費 (生活課)</p> 	<p>3,213万円 町3,211万円</p>	<p>◇防犯対策 ～悪質・巧妙化する犯罪の未然防止に努めます。(防犯灯維持、啓発等) ◇交通安全対策 ～指導員配置など啓発に取り組みます。(交通安全灯維持、啓発等) ◇安全で住みよいまちづくり推進協議会運営経費 ～町民が安心して暮らせる地域社会の実現に取り組みます。(町内会・学校・警察・暴力追放運動推進協議会等と連携、啓発等)</p>
--	------------------------------------	--

<p>消費者対策のための経費 (生活課)</p>	<p>379万円 町355万円</p>	<p>消費生活相談員の資質向上と相談体制の充実を図り、消費者被害の未然防止に努めます(相談業務、啓発等)。また、弁護士による無料法律相談を年3回開催します。</p>
---------------------------------	--------------------------------	--

<p>環境保全推進事業 (生活課)</p>	<p>106万円 町106万円</p>	<p>排水や家畜ふん尿などによる河川水質への影響を調査するほか、摩周湖の環境保全のためモニタリング調査を行う協議会へ負担金を支出します。また、環境審議会の開催や脱炭素に向けた取組検討を行います。</p>
------------------------------	--------------------------------	---

<p>有害鳥獣対策のための経費 (農林課)</p>	<p>686万円 町610万円</p>	<p>エゾシカ駆除報償金(1,000頭分)、駆除処理・運搬費用負担、熊・カラス駆除経費、猟友会中標津部会補助金</p>
----------------------------------	--------------------------------	---

〈地球温暖化対策の推進〉
北海道遺産である格子状防風林をはじめ豊かな自然環境を未来に引き継ぐため、これまで全国初となるJ-クレジットの取得や環境基本条例の策定など環境に配慮した取り組みを進めてきましたが、より一層地球温暖化対策を推進するため、「ゼロカーボンシティ」宣言を令和5年3月に行い、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めています。

<p>ごみ処理・対策にかかる経費 (生活課)</p> 	<p>7億6,914万円 町6億5,371万円</p>	<p>◇根室北部廃棄物処理広域連合負担金(4億9,249万円) ～根室管内4町で構成している広域連合への負担金です。 ◇一般廃棄物処理経費(2億6,900万円) ～一般廃棄物の収集・処理委託費及び最終処分場の維持管理経費、指定ごみ袋作成経費、広域連合焼却施設への可燃ごみの運搬経費です。 ◇ごみ減量・リサイクル促進のための経費(765万円) ～ごみ分別収集の実施や分別排出の啓発、古紙の減量化促進に取り組みます。</p>
---	--	--

<p>水道事業会計 (上下水道課)</p>	<p>8億6,268万円</p>	<p>簡易水道事業会計 (上下水道課)</p>	<p>8億9,294万円</p>
<p>上水道区域(主に市街地)へ給水。給水戸数10,138戸 ◇配水管整備事業(1億8,382万円) ～標ヶ丘西10条通配水管改修工事、南8丁目通配水管改修工事、北10丁目通配水管改修工事 他 ◇浄水施設更新事業(756万円) ～浄化槽更新工事 ◇重要給水施設配水管更新事業(955万円) ～実施設計(並美ヶ丘低区配水池周辺) ◇水道ビジョン策定事業(664万円) ～水道ビジョン(経営戦略)の策定</p>		<p>簡易水道区域(主に郊外地域)へ給水。給水戸数1,093戸 ◇配水管整備事業(3,838万円) ～西竹第1-3支線配水管改修工事、西竹第1-6支線配水管改修工事 他 ◇道営畑地帯総合整備事業(西竹地区)(負担金1億5,888万円) ～道事業費:4億8,513万円 配水管路改修4,700m、室内配管・防水塗装更新 他 ◇簡易水道浄水施設更新事業(980万円) ～開陽浄水場電気設備更新実施設計</p>	

下水道事業会計
(上下水道課)

16億4,580万円

- 下水道整備面積886.5ha、日最大処理能力10,454m³
- ◇下水道管路施設修繕事業(280万円)
～不明水対策(東中地区、人孔・汚水桝)
- ◇下水道中期ビジョン策定事業(496万円)
～下水道中期ビジョン(経営戦略)の策定

- ◇公共下水道事業(4億450万円)
～中標津下水終末処理場最初沈殿池機械設備更新工事・電気設備更新工事、管路施設カメラ調査委託、公共汚水桝新設工事18箇所 他
- ◇農業集落排水事業(600万円)
～計根別浄化センター更新実勢価格調査 他

◆「住みやすいまちづくり」に係る補助金・助成制度(抜粋)

(単位:万円)

名称	担当課	予算額	内容
地域まちづくり事業補助金(再掲)	都市住宅課	24	都市計画マスタープランの地域別構想実現に向け地域住民が取り組む活動へ補助
空家等利活用促進事業補助金(再掲)	都市住宅課	200	空き家の改修・財産処分・調査に要する費用を補助
既存住宅耐震改修費補助金	総務課	89	住宅の耐震改修・補強設計・耐震診断・除却工事費用の補助(昭和56年5月31日以前着工住宅)

基本目標5 ～郷土愛あふれるまちづくり～

新規事業・拡充する事業

町民・団体・企業・行政の協働	関係人口・交流人口の拡大	横断的連携の強化	広域連携の強化
1	2	3	4

新 学校校務用コンピューター整備事業 (学校教育課) 1,776万円 町1,776万円

全小中学校、義務教育学校の校務用コンピューターをクラウド化するとともに、校務を支援するシステムを導入します。これにより、児童生徒の様々な情報をデジタル化、学校内で情報共有するシステムが構築でき、教職員の事務負担軽減を図ります。

新 学校施設等LED化事業 (教委管理課) 5,888万円 町5,883万円

教育環境改善と脱炭素社会に向けた取り組みとして、小中学校・農業高校・幼稚園の照明設備のLED化整備工事を今年度から順次実施します。今年度は各学校施設の実施設計を行う他、防犯・安全上重要な外灯と、中標津小学校・丸山小学校の屋体高天井(アリーナ)の照明について先行して実施します。



新 学校施設等冷房設備整備事業 (教委管理課) 4,916万円 町4,516万円

各小中学校・農業高校・幼稚園における夏場の暑さ対策として各学校施設の保健室に冷房設備を設置するとともに、保健室以外の冷房設置に係る実施設計を実施します。

新 学校給食費無償化(6ヶ月間)に係る経費 (給食センター) 4,922万円 町0万円

物価高騰が続く中、子育て世帯への支援として、小中学校の児童・生徒を対象に学校給食費を4月から9月までの100食分を無償化し、保護者の負担軽減を図ります。



拡 農業高校生徒の修学支援のための経費 (農業高校) 1,967万円 町1,967万円

- ◇就学環境支援事業(1,839万円)
～農業の担い手として生徒を確保するため、生徒や保護者に各種支援を行います。
 - ・通学費補助(片道6km以上の路線バス及び自家用車送迎通学生徒であり、通学日数に応じた回数券及びガソリン代相当額を上限)
 - ・実習服購入費全額助成
 - ・資格検定料全額助成
 - ・給食提供
- ◇農業高校クラブ遠征支援経費(128万円)
～農業クラブのイベント参加・研究発表大会の遠征費のほか、部活動の遠征費の一部を補助します。今年度から宿泊費の補助上限を拡充しています。



拡	児童生徒のスポーツ文化大会 参加支援のための経費(社会教育課)	600万円 町600万円
----------	--	------------------------

児童生徒のスポーツ及び文化活動で遠征する団体や個人の遠征費を一部補助します。
今年度から宿泊費の補助上限を拡充しています。

新	郷土資料収蔵庫整備事業 (社会教育課)	2,654万円 町2,284万円
----------	--------------------------------	----------------------------

郷土資料の保存・管理については複数施設での分散管理となっておりますが、既に各施設が飽和状態となっており、また施設の老朽化も進んでいます。この課題に対し、郷土資料の適切な保存・管理を行うため郷土資料収蔵庫を新設します。新たな収蔵庫では郷土資料の公開・活用も図る事としており、令和9年度の完成を目指して今年度は測量調査設計を行います。

【建設予定地】標津川9遺跡(西8条北5丁目2番1)

主な継続事業

	児童生徒の教育環境整備のための 経費(教委管理課・学校教育課・社会教育課)	6,249万円 町6,074万円
--	--	----------------------------

◇教育力向上推進事業(197万円)

- ・学力向上推進事業
～小中学校の児童生徒の学力向上に向け、全小中学校標準学力調査(GRT)を行い、児童生徒の学力を把握し、学習指導・授業改善に役立てます。
- ・小中一貫校推進事業
～小中学校の教職員が互いの教育課程や指導方法を理解し合い、義務教育9年間を見通した連続性・系統性のある教育活動を目指します。
- ・コミュニティ・スクール運営
～全小中学校でコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を運営し、学校と保護者、地域住民等が一体となって学校運営改善や児童生徒の健全育成に取り組む環境を整えます。
- ・学校教育研究実践校活動報償



◇特別支援教育推進事業(4,607万円)

～要支援児童・生徒の学習や学校生活の介助・安全確保のため支援員を配置します。

◇外国語教育推進事業(1,300万円)

～語学指導助手(ALT)2名体制による英語指導を効果的に行うことで、小中高における英語教育の充実、地域での国際交流の促進により児童生徒の英語力向上を図ります。

◇児童生徒の安全安心サポート事業(133万円)

～児童生徒が抱える諸問題に対応するためスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを配置します。また、学校・通学路の安全確保のため、スクールガードリーダーの学校巡回指導を行います。

◇地域学校協働本部事業(12万円)

～地域全体の学校活動支援として、ボランティアの派遣や地域コーディネーターの配置を行います。

スクールバス等運行の ための経費(学校教育課)	1億4,517万円 町1億4,517万円	小中学校の統廃合に伴う児童・生徒の通学のため、スクールバスなどを運行します。(スクールバス・ハイヤー13路線、教育振興車輛運行)
------------------------------------	--------------------------------	--

GIGAスクール構想推進事業 (学校教育課)	873万円 町728万円	ICTを活用した教育環境の充実を図るとともに、AI型教材等の活用により児童生徒一人ひとりに個別最適化された学びを推進します。
-----------------------------------	------------------------	--

広陵中学校長寿命化 改良事業(教委管理課)	2億9,600万円 町2億9,600万円	老朽化の著しい広陵中学校校舎の全面改修により安全安心な施設にするとともに、近年の多様な学習内容・形態に対応した教育環境の質の向上を図ります。令和5年度に校舎の改修工事は完了しており、令和6年度は外構工事等を行います。
----------------------------------	--------------------------------	--

育英資金貸付事業 (教委管理課)	501万円 町190万円	義務教育の課程を修め、学術優秀で進学意欲ある町民が義務教育以上の教育を受ける場合に学資の貸付や入学一時金の貸付を行います。また、人口流出対策やUターン対策としての貸付枠「定住促進貸付金」による貸付を行います。
-----------------------------	------------------------	--

義務教育扶助事業 (学校教育課)	2,630万円 町2,318万円	経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し扶助を行います。 ◇学用品費、修学旅行費、体育実技用具費、医療費、新入学児童生徒学用品費、オンライン学習通信費 他
-----------------------------	----------------------------	--

生涯学習推進のための経費 <small>(社会教育課)</small>	653万円 <small>町653万円</small>	生涯学習だよりの発行や生涯学習研修講座、二十歳のつどい開催等のための経費です。
社会教育施設運営・改修経費 <small>(社会教育課)</small>	2億6,412万円 <small>町2億6,412万円</small>	総合文化会館・図書館・交流センターの運営管理について、指定管理者制度により（一財）中標津町文化スポーツ振興財団へ委託します。 （令和6年度施設改修なし）
スポーツ合宿等誘致推進事業 <small>(社会教育課)</small>	268万円 <small>町103万円</small>	◇スポーツ推進・振興事業 ～町外スポーツ団体への合宿支援品支給 ◇日本体育大学連携協定推進事業 ～「ラグビー部」「駅伝部」合宿受入、「整列と行進」指導
体育施設運営・改修経費 <small>(社会教育課)</small>	2億5,593万円 <small>町2億2,643万円</small>	総合体育館・運動公園・武道館・温水プール・テニスコート・野球場の運営管理について、指定管理者制度により（一財）中標津町文化スポーツ振興財団へ委託するほか、施設改修を行います。（温水プール改修）
埋蔵文化財分布確認調査事業 <small>(社会教育課)</small>	32万円 <small>町32万円</small>	平成29年度から調査中の標津川9遺跡（西8条北5丁目）について、今年度は、郷土資料収蔵庫建設予定地の範囲について調査します。
文化遺産を活かしたまちづくりの推進 <small>(社会教育課)</small>	357万円 <small>町59万円</small>	町内に所在する指定・未指定文化財を総合的に調査・把握し、保存・活用の促進を目的とした文化財保存活用地域計画に基づき、普及啓発としてのフォーラムを開催します。

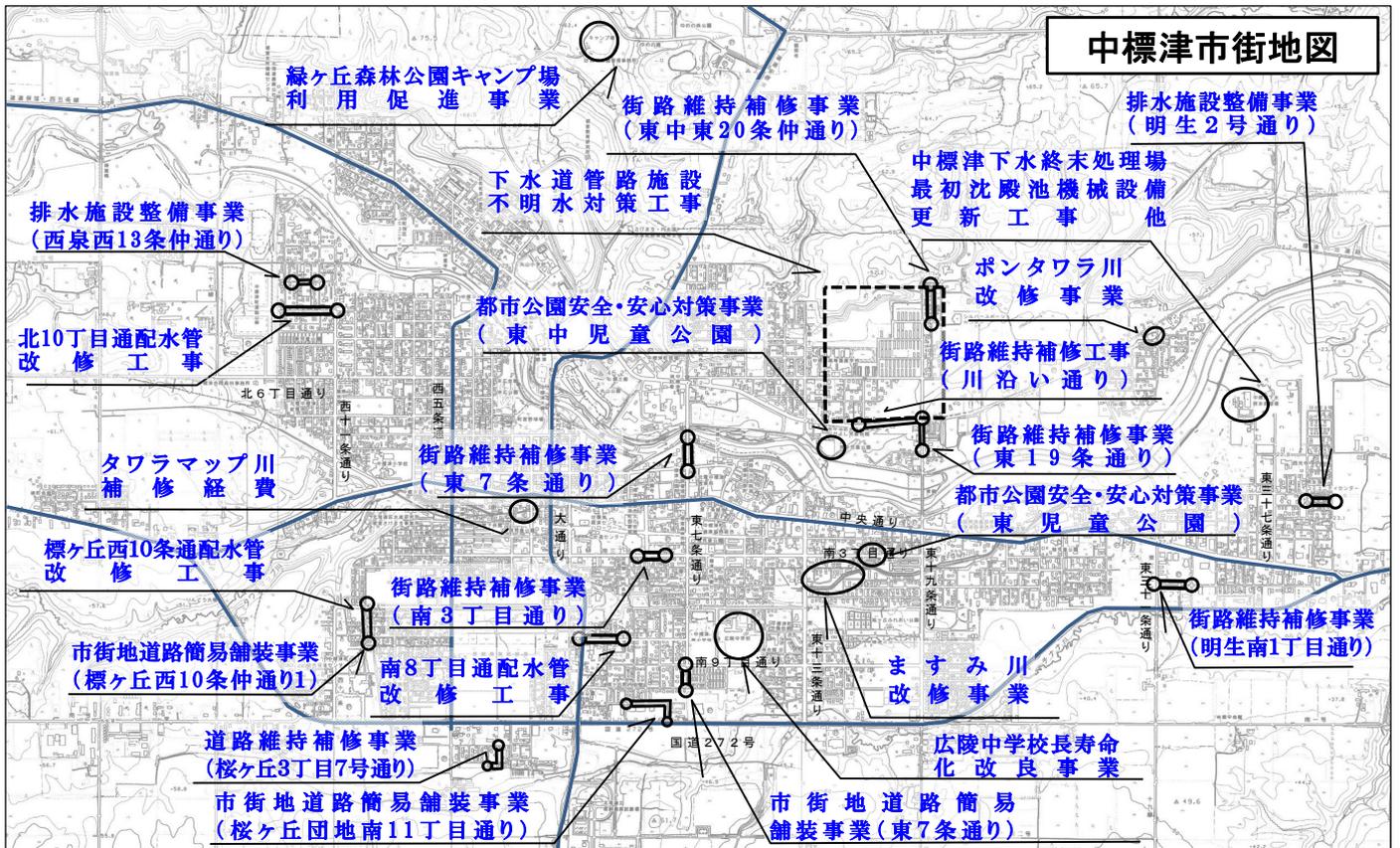


◆「郷土愛あふれるまちづくり」に係る補助金・助成制度(抜粋)

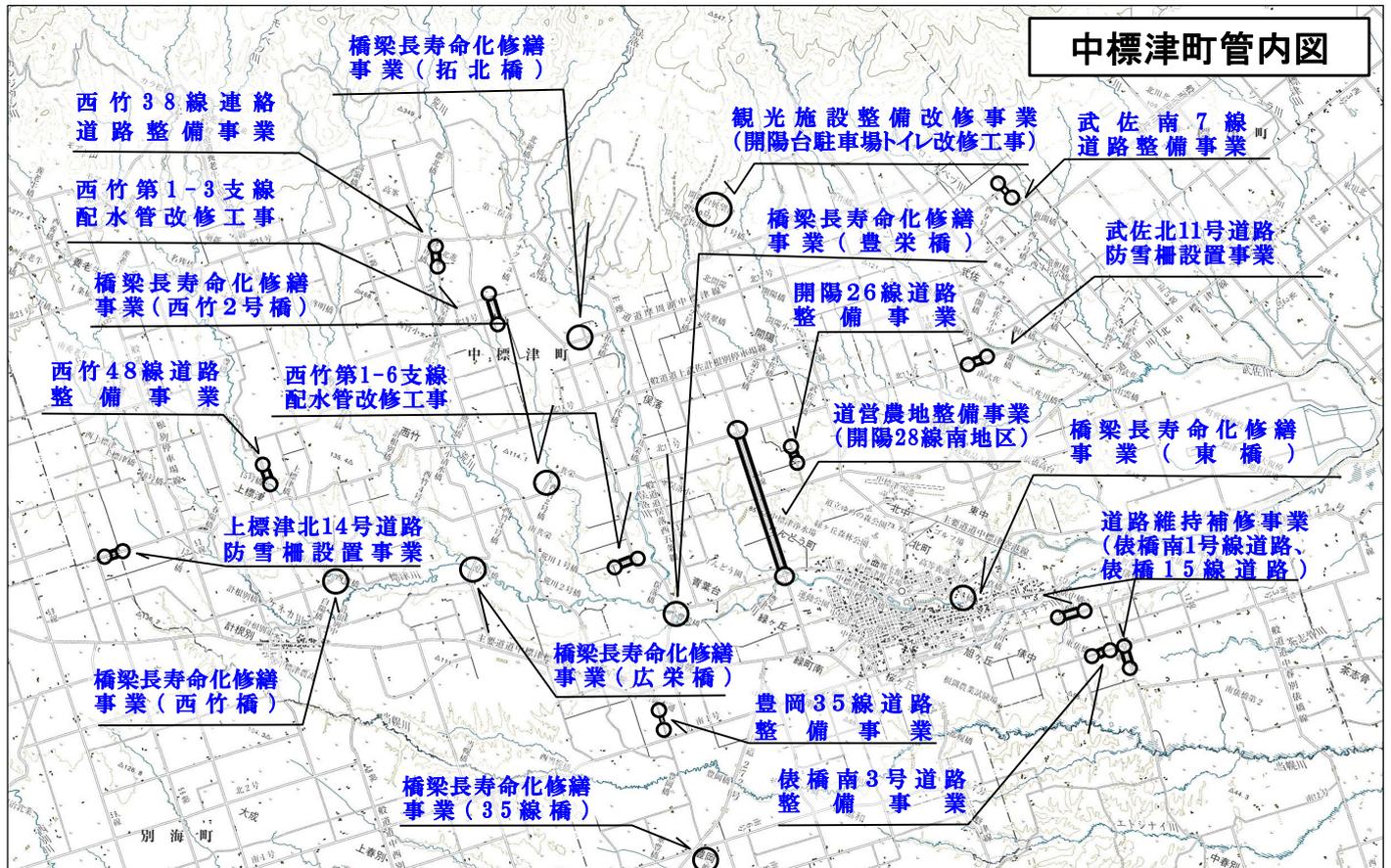
(単位:万円)

名称	担当課	予算額	内容
スポーツ文化遠征費補助金(再掲)	社会教育課	600	児童生徒のスポーツ及び文化活動で遠征する団体や個人の遠征費を一部補助

中標津市街地図



※各種事業は国の交付金等により変更することがあります。



※各種事業は国の交付金等により変更することがあります。



町 民 憲 章

(昭和40年7月1日制定)

わたしたちは、朝夕気高い武佐岳を仰ぎ、標津川の流れとともにひらけゆく
中標津の町民です。

はてしない緑の原に、先人のきびしい開拓のあとをしのび、その心をうけて、
みんなの力で明るい豊かなまちをつくるために、この憲章をさだめます。

- 1 からだをきたえ、しあわせな家庭にしましょう
- 1 誇りをもって働き、豊かなまちにしましょう
- 1 きまりを守り、明るいまちにしましょう
- 1 自然を愛し、美しいまちにしましょう
- 1 教養を高め、よりよい文化を育てましょう



【町の木】 シラカバ



【町の花】 エゾリンドウ

《 発 行 》 中標津町 総務部 政策推進課

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地
TEL (0153)73-3111 FAX (0153)73-5333

《中標津町ホームページ》

URL <https://www.nakashibetsu.jp/>

メール nakasi-t@arens.or.jp

携帯サイト <http://www.nakashibetsu.jp/mobile/>

空とみどり人が人をつないでいくまち
中標津
～住みたいまち 住み続けたいまち～